

校長室通信

南小国町立南小国中学校

令和元年 5 月 24 日（金）No6

文責 狹間卓史



輝きの時

5月19日（日）、体育大会を開催しました。本来ならば前日の18日（土）を予定していましたが、終日、雨と強風の天気予報が出ていたため、一日順延しての実施でした。とは言っても、順延した大会当日も午前中は冷たい雨と強風の中、午後一時折吹き荒れる突風の中での開催となりました。

また、この日は、もともと小国高校が体育大会を予定していたらしかったこともあり、対応に困られたご家庭もあったのではないかと思います。そういう状況下での実施にもかかわらず、多くのご来賓の方々、ご家庭の方々、そして地域の方々にご観覧いただきましたことに、あらためてお礼申し上げます。

【 出番待ちの応援団着 】

10連休のゴールデンウィークにより、例年よりも短い準備期間でしたが、生徒は両団長、そしてそれぞれの取組での3年生を中心に本当に頑張ってくれました。生徒がその頑張りを誰に見て欲しかったかと言えば、間違いなく家族の皆さん方にでした。その生徒に関わってきた本校職員も思いは同じであり、何とかこの生徒の姿をご家庭の皆さん方に届けたいという思いだけでした。万が一の雨天時に備えた体育館バージョンも考え、位置取りの練習もし、体育館内の会場づくりも完璧に済ませた上で迎えた日曜日。担当の益田教諭は大会開始直前まで何度も計画を立て直し、何種類ものプログラムを準備してくれました。天候の変化に合わせて随時変えていき、生徒の出場種目は全て確保するというこだわりの対応に、担当者としての熱意を感じ嬉しい限りでした。また、どの職員も連日遅くまで準備に取り組んでくれましたが、土曜日の夕方には強風対策の土のうも急きょ何十個も作ってくれました。てきぱきと気持ちよく動いてくれる職員の姿は本当に心強いものでした。

そして本番。小雨が断続的に降りしきる中、開始時間を30分遅らせての決行。白団 宗像団長、赤団 畑本団長の気持ちの込めった選手宣誓からスタート。全生徒のきびきびとした動きや、はつらつとした表情に魅入られるばかりでした。運動場中に広がるはじける笑顔。敗れて涙する姿はもちろん勝って涙する姿。讃え合う姿と優しくねぎらう姿等々。

その全てが、このメンバーでこの瞬間にしか生まれ得ない光景であり二度と作り得ない時間でした。全力を尽くす自らの姿は、何よりも誰よりも輝いていたということをお忘れないうちに欲しいと願うばかりです。

たくさんの感動をくれた生徒に、支えてくださったご家庭の皆さんに、元気一杯の走りを見せてくれた三小学校の六年生に、そして地域の方々に・・・、全ての皆さんに感謝しかありません。大会当日の写真はたくさんありますが、各学級通信でお楽しみください。



【土曜日夕刻、南の空に架かった二重の大きな虹。その向こう側に広がるのは生徒が創造する新未来！】